



令和4年度
学校報No.35
令和5年2月24日
大仙市立
大曲南中学校



※HP随時更新しています

◇PTA学校参観日へのご参加ありがとうございました

2月22日(水)、今年度最後のPTAが行われました。授業参観では、成長した子どもたちの姿をご覧いただけたことと思います。この1年で身体も大きくなりましたが、考え方も大人に近付きました。「自立 貢献」の目標がどれだけ達成できたのか、ご家族で振り返ってみてはいかがでしょうか。

全体会では、学校評価と県学習状況調査の結果等についてお話させていただきました。学力については、平均よりいいとか悪いとか、点数を気にする方も多いと思います。しかし、平均点は全体的な指標の一つであって、大切なのは「何が分かったか」「何ができるようになったか」という個人の向上です。平均点や順位にこだわることには、あまり意味はないと私は考えます。常に一生懸命学習に取り組んでいる南中生です。自分の成長を振り返り、次の課題に向かっていくことこそが大切だと思います。

3年生の保護者の皆様、3年間本校のPTA活動にご協力いただきありがとうございました。今後とも「地域の先生」として、本校生徒をご指導いただければ幸いです。

◇1年生家庭科「エコハウスを設計しよう」が秋田魁新報に掲載されました。

2月16日(木)の秋田魁新報に、2月3日(金)に、一級建築士松塚智宏氏を講師に迎えて行われた授業が掲載されました。1年生が「50年後のエコハウス」のアイデアをイラストに仕上げている場面の写真も、大きく掲載されました。

本校は、秋田県の小・中学校で唯一のユネスコスクールでもあり、あきたSDGsパートナーにも登録されています(中学校では県内で2校)。秋田県のSDGsのリーディング校として、これからもSDGs達成に向けた取組を、県内外に発信していきます。ちなみに、3月1日発行の大仙市広報「だいせん日和」にも掲載される予定です。



◇これからの地球社会と日本、そして私たち

3年生の社会科で、「これからの地球社会と日本、そして私たち」という単元の学習をしました。

単元の課題
「地球上の全ての人々が、よりよい生活を送れるために必要なことは何だろうか？」

「この課題について、あなたができること、実行したいと考えることは？」という問いに対し、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」を踏まえた素晴らしい考えが出されました。

古谷 綺子
自分たちの考えを発信していくことが大切だと思います。世界中には約78億人の人がいるので、78億通りの考えがあると思います。一人一人の意見は違うので対立もあると思うけど、それを互いに尊重できれば今よりよい生活ができると思います。また、日本にいと分らないけれど、貧困で困っている国は私が思っている以上にあることを知りました。その問題は、国が国境を越えてつながると解決できると思いました。だから国際協力を今よりもっと意識していくことが、よりよい生活にもつながると思います。人と人とのつながりが、国と国とのつながりになっていくと思うので、私自身たくさんの人と差別なく、多様性を尊重して関わるようにしたいです。

黒田 果凜
地球上の全ての人々がよりよい生活を送れるためには、地球温暖化の進行を防ぐことが必要だと思います。気候変動で食べ物に困る人が増えてしまったり、食べ物をめぐって争いが起きてしまったりすることは、とても悲しいです。地球温暖化を防ぐためには、SDGsに取り組み、持続可能な社会を実現していくことが必要です。これはとても大きなことで難しそうに思いますが、小さなことでもいいのです。一人一人が小さいことでもいいから、SDGsに関心をもって取り組めば、それは山となり、地球を変えていくことができます。まずは最初の一歩を踏み出してみることが大事なのです。

私に取り組んでいるSDGsは、節電、節水、エコバッグを持ち歩く、商品の手前取り、生ゴミを畑の肥料にする、食べ物の作りすぎ・食べ残しをなくすなどです。これはとても手軽にできます。こんな小さなことでもSDGsにつながります。多くの方がSDGsに関心をもってほしいです。

また私は、これからの秋田県を考えていきたいです。私は将来、食や栄養の知識を学んでそれを生かした仕事に就きたいと思っています。秋田県は農業が盛んです。お米はおいしいし、野菜も果実もたくさんです。それを日本や世界の人に私の手から広め、秋田県をPRし盛り上げていきたいです。それによって、秋田に住もうとする人が増えたり、過疎を防いだり、少子高齢化を防げると思います。特産物を地産地消することになるので環境にも優しいし、地球温暖化を防ぐことにもつながると思いました。